

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/>メール chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

平成24年4月25日

真似したくなる社会を

校長 小林 啓一

「真似したくなる社会を」は、平成18年5月20日付の新潟日報紙に掲載された随筆の標題です。筆者は、農林水産省のキャリア官僚から、研修で派遣された岩手県東和町(現花巻市)の農業に触れて住みつき、テレビ化もされた『ヨメより先に牛がきた』の著書もある役重真喜子(やくしげ まきこ)さんです。役重さんが地域の集会所で行われた山伏神楽の舞初めを見ている時に起きた「ほほえましいハプニング」から、話が始まります。(以下引用)

(前略) 客席で母親に抱かれていた3歳くらいの坊やが、何を思ったのか突然母の膝から飛び降り、舞台を真似て踊り始めたのである。(中略) 10分、20分と舞い続ける間、幼子の目は舞台上の一人の舞手にひたと吸い付き、離れない。彼の一举一動を追い、夢中で真似る。舞手は幼子の祖父だった。(中略) おじいちゃんは、あの子にとって憧れのヒーローなのだ。

年長の者を真似、憧れ、われも近づきたいと願う切なる気持ち。そこには、人としての成長の源があり、エネルギーがあり、そして教育の一番大切な原点があるのではないだろうか。「学ぶ」の語源は「まねぶ」、つまり「真似る」にあるという。頑張ってああいうふうになりたい、と真似る相手があってこそ、人は学ぶ。(中略) 敵の切り方や釜の火加減など、生きていくための知恵や技を年長者は持っている。だからこそ、若い者は年長者を敬い、真似てきた。嫁は姑を真似、子は親を真似た。

ところがいつのころからか、この「真似び」に微妙な変化が生まれた。農業が後退し、農業の達人としての年長者は出番が減った。家の中でも「レンジでチン」方式が普及し、年長者の手技や工夫のありがたさは忘れられかけている。「じいちゃん、すごい」「大人ってカッコいい」という真似と学びの原点が身边から少しずつ遠ざかっているのである。

一方で、子どもたちがメディアを通じて受け取る大人社会の姿は、あまり真似をしたくない危険と不信に満ちたものになってしまった。「今の子は学ぶ意欲がない」とよく言われるが、「真似をしたい」「学びたい」と思ってもらえる社会を、私たち大人はつくってきただろうか。(中略)

学ぶことは真似ること。(中略) 真似られる社会をつくる地道な努力と汗こそ、子どもの中に本当の種をはぐくむのではないだろうか。どれだけ水をやり、肥料を与えても、蒔かぬ種は芽を出さない。時折、わたしは思い出すのだ。神楽で見た幼子の、祖父を追う半ば必死な目の色—あのまなざしの中には、しっかりと「種」が蒔かれていた。(後略)

新1年生64人、転入生2人を迎え、全校児童388人で新年度をスタートしました。11人の新任職員を含め44人の全職員で力を合わせ、子どもたちが「真似したい」「学びたい」と思えるような教育活動の推進に努め、「子どもに『種』蒔く教育」を進めていきます。

御家族や地域の皆様の一層の御支援御協力をよろしくお願いいたします。

平成24年度 新井中央小学校の教職員を紹介します！

今年度の新井中央小学校の教職員です。私たち一人一人、子どもたちのために全力で取り組みます。1年間よろしく願いいたします。

校 長	小林 啓一	通級指導教室	山田 聡
教 頭	宮澤 忠明	養護教諭	矢崎 富美子
教務主任	山澤 禎之	栄養教諭	小名 絵里香
学習指導改善推進加配	佐藤 貴子	主 任	久保田久美子
統合安定加配	長田 妙子	教育補助員	島田 優子
児童生徒支援加配	齊藤 陽子	司 書	見竹 浩美
外国人帰国子女支援	飯吉 一夫	用 務 員	小林 茂雄
1年1組	今井 和歌子	用 務 員	白石 泰興
1年2組	岩片 裕子	調 理 員	丸山 美津子
2年1組	名畑 江美	調 理 員	黒田 奈津代
2年2組	古海 美保	調 理 員	建部 春奈
3年1組	藤野 明子	調 理 員	山田 明香
3年2組	鈴木 晴子	調 理 員	馬場 幸恵
4年1組	川久保 昌美	調 理 員	阿部 智子
4年2組	吉田 美枝	支 援 員	霜鳥 玉恵
5年1組	橋本 晃	支 援 員	寺澤 理英子
5年2組	横田 美紀子	支 援 員	築田 明佳
6年1組	渡邊 友也	支 援 員	深石 悦子
6年2組	米岡 洋	支 援 員	古川 照美
ドリーム1	松村 有美	支 援 員	城戸 敦子
ドリーム2	岩澤 すみ	支 援 員	太田 恵
ドリーム3	山田 哲也		
ドリーム4	大塚 雅也		

お世話になりました。

3月末の異動で下記の職員が退職、転出をしました。ありがとうございました。

【退職・転任職員】

1 教諭	加藤京子	上越市立東本町小学校へ
2 教諭	牧井宏実	上越市立上雲寺小学校へ
3 教諭	杉田和宏	糸魚川市立糸魚川東小学校へ
4 教諭	宮越 薫	妙高市立新井小学校へ
5 教諭	石口一美	上越市立国府小学校へ
6 教諭	深石裕美	糸魚川市立大和川小学校へ
7 講師	中村久美子	退職
8 非常勤講師	江戸美夏	妙高市立姫川原小学校へ
9 学校運営改善推進委員	近藤景子	退職
10 調理員	小林幸江	妙高高原北小学校へ

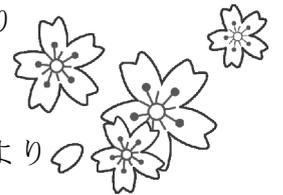
11 司書	堀川内子	妙高市立新井小学校へ
12 支援員	安原孝美	退職
13 支援員	樋口清香	県立柏崎総合高等学校へ

〔転出者 13名〕

4月初めの異動で、下記の職員が転入しました。よろしくお願ひします。

【転入職員】

1 教諭	岩澤すみ	長岡市立大島小学校より
2 教諭	飯吉一夫	上越市立明治小学校より
3 教諭	鈴木晴子	上越市立末広小学校より
4 教諭	横田美紀子	上越市立東本町小学校より
5 教諭	山田哲也	上越市立春日小学校より
6 教諭	川久保昌美	新採用
7 パート調理員	馬場幸恵	新採用
8 パート調理員	阿部智子	妙高市立斐太南小学校より
9 司書	見竹浩美	妙高市立妙高小学校より
10 支援員	太田 恵	妙高市立妙高高原北小学校より
11 支援員	城戸敦子	新採用



〔転入者11名〕

元気でさわやかなあいさつができる子どもたちに

3月の学校だよりでお知らせしましたとおり、妙高市では、昨年度に引き続き「ALL妙高」あいさつ運動を行います。今年の春の運動は、春の交通安全運動と合わせて行いました。

初日の9日は、6年1組の保護者の方や市教育委員さん、こども教育課長さん、町内会、民生・児童委員、保護司のみなさんなど大勢の方がおいでになりました。また、各町内でも、町内会の皆様が大量出て下さいました。

春のあいさつ運動は、終わりましたが、また23日から27日まで、校内で「さくらあいさつ運動」に取り組みます。また、学校では毎月20日にプロジェクト委員会が中心になり「にこにこあいさつ運動」を行います。いつも、元気にさわやかに、学校中をあいさつでいっぱいになるように取り組んでいきます。

お知らせ

- ・学級数が変わったために、教室の場所を変更しました。今年度は1階が1、2年生。2階が3、4年生の教室になっています。
- ・特別支援学級の名称を今年度より「ドリーム1、2、3、4」としました。夢に向かってがんばろうという、思いを込めています。

入学して1か月がたちました

64名の1年生が元気いっぱい入学して1か月がたちました。少しずつ学校の生活にも慣れ、毎日楽しく登校しています。先日行われた1年生を迎える会では、元気いっぱい覚えたばかりの校歌を全校児童の前で歌うことができました。

登下校では、道草をするなどまだまだ心配な面があるので、地域・保護者の皆様より見守りの協力をお願いします。



【1年生を迎える会 6年生に手を引かれ入場】

今年の運動会について

今年の大運動会は、5月26日（土）に行います。今年度は、新たな試みとして紅白学級対抗形式で運動会を行います。保護者の方にもこれまでと同じように競技に参加していただきたいと思えます。詳しくは、各地域部、学年部の担当者よりそれぞれお話があります。これまで以上に勝負に対する駆け引きや楽しさが加わります。保護者の皆様、地域の皆様、当日は運動会においでいただき、頑張る児童に声援をお願いいたします。



【今年度、一般種目は男性は綱引き、女性、借り物レースの予定】

5月の主な予定

- 1日(火)なかよしウォークラリー(下校 12時30分)、おにぎりの日
- 2日(水)クラブ開講式
- 7日(月)なかよし班による清掃開始
- 8日(火)歯科検診(1~3年)
- 9日(水)クラブ活動
- 11日(金)心臓検診(1、4年生)
- 17日(木)全校朝会、歯科検診(4~6年)
- 22日(火)PTA奉仕作業
- 23日(水)運動会予行練習
- 25日(金)運動会前日準備、金管パレード
- 26日(土)大運動会、教育実習開始(~6月1まで)
- 28日(月)振り替え休業日
- 30日(水)検尿
- 31日(木)全校集会(SSE)



※いよいよ連休になります。交通事故等十分気を付けてお過ごしください。